



第428号 平成26年3月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 奥村正治

平成25年度学校保健講習会

会長 奥村正治

毎年今頃に学校保健の講習会が、日本医師会の主催で東京の日医会館で行なわれる。数年前までは、土曜日に開催され土曜の診療を休診して行かなくてはならなかったが、今は日曜の日帰りで参加可能となりました。

本年は2月23日(日)に行なわれ、ほぼ一日缶詰だが、次から次へと話題がぎっしりつまっております。順にご報告いたします。

一番目は、「最近の学校健康教育行政の課題について」と題して文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課・学校保健対策専門官の知念希和先生の話である。学校医は文科省では上述の長々とした部署が所轄の部になる様である。何回かこの講習会には参加しているが、この「教育行政の課題について」で一番驚いたのは2年前ですか、「インフルエンザ罹患後の学校を休む期間の説明」でしたが、今回はその時ほどびっくりする話題はなかったが、

①学校におけるアレルギー疾患への対応

②児童・生徒の健康診断

③学校保健に関する予算事業(平成26年度)

の3つであった。

①では特にアナフィラキシーが起こりうると考えられる児童生徒さんのケースでは学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)の提出をお願いしたとの話であり、学校医以外でも親から記入の依頼があれば、医師の記入が必要になりました。あえて質問はしなかったが、指導表以外でもそれに準じた物であれば良いと思われる。文科省でキャッチしている所によると、(a)食物アレルギーで(b)アナフィラキシーがありで(c)エピペン保持者がそれぞれ全児童生徒の

(a)4.5%、(b)0.5%、(c)0.3%の数字をつかんでおり、エピペン保持者もそうとう数になっている様(27,312名)である。今年はこのアレルギー疾患について学校中話題になりそうである。4月頃に在校生の除去食に関しては診断書、診断書の話になると思います。よろしく対応をお願い申し上げます。京都市教育委員会としては、府医の乳幼児保健委員会の監修の除去食の診断書でもOK、もちろん、先生御自身の診断書でもOKとの事であります。

②では、身体の診療に於いてプライバシーの保護という観点に配慮しつつ、正確な健康診断のためには、脱衣などの診療上必要な事項については、子供や保護者の理解を求める事が必要であるとの話があり、健診の前の教育が必要であるとの話題である。養護の先生達とタッグを組んで進めていっていただきたいと思います。

③では、京都ではモデルとして昨年より始まっておりますが、「がんの教育総合支援事業(新規)」が新しく予算化された様であります。がん教育にも校医出番が求められている様ですので、この点も頭の片隅に置いていただいて校医活動をお願いいたします。

次の演題は、「学校保健における食物アレルギー対策」—学校生活管理指導表の運用状況と問題点—と題して、藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科教授の宇理須厚雄先生の講演であった。指導管理表の運用状況と問題点とあったので期待していたが、一般的な食物アレルギー対応の話が中心で、運用状況としては、地域により差が大きく、20%も提出していない地区や、90%以上の運用をしている地区や、

ばらばらであり、この4月よりも少し増加するのではないかという話であった。問題点も気を付けて聞いていたが、記入に時間がかかるという点以外は特になしで、期待薄の感がしました。

昼食後「スポーツと月経異常 ―その現状と対策―」という話題で、国立スポーツ科学センターメディカルセンタースポーツクリニックの産婦人科、能瀬さやか先生の講演であった。こんどの東京オリンピックを見据えて、中高生のアスリートに焦点を合わせ、月経困難症は本人任せではなく、婦人科の受診を！！という結論であったが、能瀬先生のように婦人科で体協のスポーツドクターの資格をもったドクターは日本ではめずらしい為、中高生のアスリートに100点のサポートは難しいのでは？と思いましたが、まず、婦人科の門をたたき、自己管理ではなく専門の管理

を受けながら競技スポーツを行なっていただきたいと思います。

その後はシンポジウムでしめくくりです。「学童期・思春期の生活習慣病予防対策」というメインテーマで4人の先生が、「児童生徒の生活習慣病に関する小児の基準値」「児童生徒の生活習慣病検診」「児童生徒の運動習慣と生活習慣病」「生活習慣病予防における食育の意義」の4題でありました。紙面の都合により多くは書けないが、生活習慣病の大人の予防は子供から始まっている。子供をしっかりしないといけない、の結論である。我が京都では学校で採血をしていないのでこの話題には仲間に入っていない。学校での採血をどうするかが、話題の第一歩であります。

第28回京都市小学校「大文字駅伝大会事前整形外科検診報告書」

京都整形外科医会 会長 井上 敦夫
山下 琢

1) 実施方法

- ①全選手に対して足底と下肢アラインメントを写真撮影し、分析を行った。
- ②正常範囲をやや逸脱している選手に対して整形外科検診を実施した。
- ③検診受診希望選手に対して整形外科検診を行った。
- ④受診した選手に対して指導（ストレッチ、練習軽減、練習一時中止、大会後受診、即時受診）を行った。
- ⑤即時受診勧奨となった選手については保護者向け説明書と整形外科紹介状を手渡した。
- ⑥理学療法士（PT）によるストレッチの指導を行った。

2) 事業結果

- ①受診希望選手は全体の41%。
- ②異常部位では例年通り、膝、足関節、足部の順に多かった。
- ③指導区分では、練習を中止しないといけない選手はいなかったが、ストレッチなどの柔軟性改善が必要な選手が多かった。

- ④PTによる直接指導を行い、付き添い教師にも説明でき、有用な対応ができた。
- ⑤現在病院を通院している選手は7.5%、接骨院に通っている選手は16%であった。
- ⑥過去の通院歴では病院22% 接骨院21% 合計43%であった。
- ⑦足底撮影のみを行った390名の選手のうち14.7%（97名）に足底形態異常を認めた。その72.2%が女子であった。扁平足が最も多かった。
- ⑧現在症状はないが、下腿、足関節に圧痛を認める選手もあった。その選手に対するストレッチ指導をおこなえたことは、足底検診は症状発生の予防的効果の可能性があると考えられる。
- ⑨運動器機能不全について、おじぎは股関節、腰椎の柔軟性が、しゃがみこみは足関節の柔軟性が必要である。扁平足の選手は足関節背屈制限を認めることが多かった。
- ⑩アキレス腱のタイトネスを足関節回内位からの背屈で代償するため、シンスプリントや扁平足を増悪させる選手が多い印象であった。

出 務 表

12月21日

					オブザーバー
医 師	日下部虎夫	中島 毅	森原 徹	山下 琢	立入 克敏
理学療法士	藤竹 俊輔	西尾 大地	松井 知之	平本真知子	
看 護 師	立入 淳子	砂原 睦美	梶原 扶美	藤島 尚子	

1月11日

					オブザーバー
医 師	古川 泰三	辻 丈夫	高橋 真	山下 琢	立入 克敏
理学療法士	安井 重男	今田 晃司	東 善一	瀬尾 和弥	
看 護 師	立入 淳子	砂原 睦美	成田 香子	水上富美子	

足型担当医 京都府立医大 生駒和也, 牧 昌弘

足型担当技師 洛北義肢

(順不同, 敬称略)

第28回京都市小学校「大文字駅伝」大会 結果

実施日時 平成26年2月9日(日) 10時45分スタート

コース 衣笠小学校前～岡崎公園野球場

区間・距離 10区間 16,352m

気象状況 天候：晴れ 気温：5.9℃ 午前11時現在

備 考 全48チーム完走(成績は下記のとおり)

記

支部名	学校名	順位	記録
北 上	上賀茂小学校	18	0° 59' 02"
	大宮小学校	11	0° 58' 17"
北 下	紫野小学校	47	1° 04' 11"
	金閣小学校	38	1° 01' 02"
上 京	新町小学校	34	1° 00' 28"
	西陣中央小学校	29	0° 59' 39"
中 京	御所南小学校	9	0° 58' 01"
	高倉小学校	23	0° 59' 25"
	朱雀第四小学校	19	0° 59' 03"
下 京 ・ 東 山	洛央小学校	46	1° 02' 37"
	開晴小学校	39	1° 01' 14"
	月輪小学校	20	0° 59' 07"
南	凌風小学校	27	0° 59' 31"
	祥栄小学校	44	1° 02' 21"
	上鳥羽小学校	32	1° 00' 15"
左京北	明德小学校	41	1° 01' 41"
	岩倉北小学校	31	0° 59' 50"
左京南	錦林小学校	45	1° 02' 33"
	修学院小学校	8	0° 57' 46"
	松ヶ崎小学校	14	0° 58' 56"
山 科	音羽小学校	24	0° 59' 26"
	大塚小学校	10	0° 58' 06"
	小野小学校	7	0° 57' 37"
	百々小学校	37	1° 00' 57"

支部名	学校名	順位	記録
右京北	嵯峨小学校	28	0° 59' 35"
	常磐野小学校	40	1° 01' 19"
	嵯峨野小学校	1	0° 56' 34"
右京南	太秦小学校	30	0° 59' 41"
	西院小学校	35	1° 00' 41"
	山ノ内小学校	25	0° 59' 28"
西京東	梅津北小学校	33	1° 00' 17"
	檜原小学校	6	0° 57' 23"
	松尾小学校	5	0° 57' 22"
西京西	桂徳小学校	2	0° 56' 53"
	桂東小学校	3	0° 57' 00"
	大枝小学校	22	0° 59' 12"
伏見中	桂坂小学校	17	0° 59' 02"
	深草小学校	43	1° 02' 12"
	藤ノ森小学校	21	0° 59' 11"
伏見東	桃山小学校	4	0° 57' 22"
	醍醐小学校	36	1° 00' 45"
伏見西	小栗栖宮山小学校	42	1° 02' 11"
	下鳥羽小学校	16	0° 58' 57"
	向島南小学校	12	0° 58' 17"
	久我の杜小学校	26	0° 59' 29"
国・私立代表 民族学校代表	美豆小学校	15	0° 58' 56"
	立命館小学校	13	0° 58' 33"
	京都朝鮮学園	48	1° 05' 25"

※ 嵯峨野小学校 7年ぶり7回目の優勝

第10回 常任理事会

平成26年3月1日
於 事務局

出席者 奥村会長、林副会長、井本専務理事、東道・杉本・山内各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 一般社団法人京都府医師会 新春賀詞交歓会
2/1 於：ホテルグランヴィア京都 奥村出席
2. 第28回 京都市小学生「大文字駅伝」大会
2/9 於：みやこめっせ (P.3 参照)
3. 第62回 近畿医師会連合学校医研究協議会総会
2/9 於：和歌山市
4. 精神衛生研究会 2/13
5. 平成25年度 日医母子保健講習会 2/16
於：日本医師会館
6. 色覚相談 2/18, 2/25 各2名
7. 平成25年度 日医学校保健講習会 2/23
於：日本医師会館 奥村・長村出席 (P.1 参照)
8. 食物アレルギー対応研修会 2/26
於：京都テルサホール
9. その他

<協議事項>

1. 新任校医研修会について 3/20
於：こどもみらい館
2. 全理事会について 4/10 14:00~
於：こどもみらい館
3. 平成26年度 三師会について 日程調整
4. 会誌原稿について
5. 平成26年度総会・仮決算について
6. 「PM2.5に関するQ&A」について

<関連学会・各種協議>

1. 校医・小児科医感染症講演会 3/1
於：ANAクラウンプラザホテル京都
2. 東山支部会 3/2
3. 色覚相談 3/4, 3/11, 3/18, 3/25
4. 精神衛生研究会 3/13
5. 平成25年度京都府医師会学校医部会総会
3/13 於：京都府医師会館
6. 第25回子どものこころと身体懇話会 3/15
於：京都第二赤十字病院
7. 平成25年度 思春期・青年期事業検討会議
3/18 於：京都市こころの健康増進センター
杉本出席
8. 新任校医研修会 3/20 於：こどもみらい館
9. 右京支部会 3/22 於：嵐山弁慶
10. 第11回 常任理事会 4/5 14:00~

平成26年度 京都市学校医会総会 ご案内

- ◎ 期 日 平成26年4月19日(土)
◎ 場 所 竹 茂 楼 (左京区粟田口鳥居町65 TEL 771-4185)

1. 総 会 午後3時30分より
議 事 (1) 平成25年度事業・決算報告 (2) 会計監査結果報告 (3) 役員改選
(4) 本年度活動方針について (5) 平成26年度事業案・予算案審議 (6) その他
2. 講演会 午後4時30分より
講師 菅 浪 善 造 様 (下出蒔絵司所)
表題 「蒔絵に会えて」

下出蒔絵司所にて職人として50年余り。

3歳で母と、6歳で父と死別。4歳頃左股関節を結核菌に冒され、小学校1年生の6月から約2年10ヶ月入院生活を送る。入院時に、京都YMCA肢体不自由児療養キャンプと出会う。第1回~第3回までキャンパーで参加の機会に恵まれる。退院後、6年間養護施設での集団生活を送る。足の不自由な私に手に職をと配慮いただいた園長先生の心遣いと、様々な方々に助けていただき蒔絵と出会う。

3. 懇親会 午後6時より 会費 10,000円